

寄稿

「頼もしき若手世代」

小田原市長 加藤 憲一

多くの市民の皆さんの参画により進めている「新しい小田原」への歩みは、検討段階から各種モデル事業を経て、全体的な事業展開の段階へと進んでいきます。また、無尽蔵プロジェクトに象徴されるような、小田原の地域資源を活かした地域活性化のアクションも活発になってきました。

いずれの活動にも共通する最大の課題は、担い手の掘り起こしと育成。とりわけ、次の時代につながる若手世代が元気に関わっているかどうか、大きなポイント。幸い、様々な分野において、大きな可能性を秘めた若い力が「新しい小田原」をけん引し始めています。例えば…最近街なかで数多く開催され

るようになった「市（マルシェ）」では、若手の生産者や商工業者たちが中心になり、大いに盛り上げてくれています。ものづくりの現場では、伝統的な地場産業である木工や鋳物、食品加工など様々な分野で、若手後継者が新しい感覚と工夫でそれぞれの「なりわい」を引き継いでいます。文化芸術では、絵画・陶芸・工芸などの分野で新たな担い手たちが元気に動き出し、地域外からの移住組も増えつつあります。次世代を育む主役というべき若いお母さんたちの中にも、子育てをしながら自分の持っている能力を活かし様々な仕事を立ち上げてい

うという動きが始まっています。小田原を本拠にビジネスを立ち上げ、成功する若手経営者たちも登場し始めています。これらの若手に共通するのは、皆小田原が好きで、しかも小田原が持つ資源や可能性を自らの仕事や生き方に取り込み、活かし、楽しんでいること。このような若手の活動を大いに励まし、支援したいと思えます。



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

私が変わる・小田原が変わる  
おだわらを拓く力  
(加藤けんいち後援会)  
小田原市栄町2-13-1-2F  
TEL.0465-21-5260  
(月・水・金 10:00~17:00)  
http://www.katoken.info

私が変わる・小田原が変わる  
おだわらを拓く力  
(加藤けんいち後援会)  
小田原市栄町2-13-1-2F  
TEL.0465-21-5260  
(月・水・金 10:00~17:00)  
http://www.katoken.info

〈ゲストの横顔〉

- 石井久喜さん  
東町で「フラワーショップ花陶」「はなまる農園」を営む。
- 柏木照之さん  
中町の榊木美術鋳物研究所代表取締役。
- たかはしあやかさん  
早川の共同アトリエ「Atelier hayakawa」2階を拠点に制作・展示。
- 樋口敦士さん  
ネットショップ、株式会社StrapyaNextの代表取締役。
- 山本加世さん  
ベビーマッサージ講師に転進後、NPO法人ママズ・ハグを設立。

3月21日(祝)午後2時  
午後4時30分、小田原市民会館小ホールにて。参加費500円(子ども・学生は無料)。申込み不要。\*問合 2600 おだわらを拓く力(月・水・金の午前10時~午後5時)

小田原で生まれ育ち、小田原で活躍する若い力を紹介  
「小田原再生フォーラム」3月21日(祝)開催

おだわらを拓く力(加藤憲一・小田原市長後援会)では、市民とともに小田原再生への道を模索しようと、各方面からゲストを招いて定期的にフォーラムを開催している。今回は「わっしょい!小田原」と題し、地元小田原を舞台にあらゆる分野で活躍中の魅力ある5人の若者を紹介。はじめたきっかけ、ここに至るまでの経緯などをそれぞれが発表する。さらに加藤市長を交え、小田原のいいところや小田原の未来などを語り合う。